

Seitaro Ishikawa

指揮
石川 征太郎

こ
こ
で
し
か
味
わ
え
な
い、
一
夜
限
り
の
演
奏
を

Tatsuki Narita

©Marco Borggriewe

ヴァイオリン
成田 達輝

標津町スペシャル コンサート2025

～標津町×鶴居村
音楽でつなぐ、二つのふるさと～

Shibetsu Town
Special Concert

Ayano Kamimura

チェロ
上村 文乃

©Mina Kitano (HTJ)

Shota Nakano

ピアノ
中野 翔太

©Taira Tairadate

2025年11月28日(金)

会場

標津町
生涯学習センター あすばる
標津町南1条西5丁目5-3

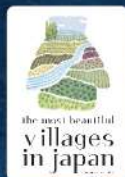
[開場]18:30 [開演]19:00

演奏曲目

- エルガー：愛の挨拶
- ピアノ／上村文乃編：リベルタンゴ
- ピアノ・ソロ
・「風の通り道」「となりのトトロ」より
・「カントリーロード」「耳をすませば」より
・美空ひばり：川の流れのように
- J. S. バッハ：インベンションより
- ハーライン／中野翔太編：星に願いを
- 坂本龍一：戦場のメリークリスマス

演奏者

成田達輝（ヴァイオリン）
上村文乃（チェロ）
中野翔太（ピアノ）
音楽監督：石川 征太郎（鶴居村在住）



チケット料金
前売り 町民1,000円、町外1,500円、高校生以下町民 無料、高校生以下町外 500円
当日 町民1,000円、町外2,000円、高校生以下町民 無料、高校生以下町外 500円
※席を一名様分使用する場合は料金が発生

お問い合わせ

標津町教育委員会：TEL.0153-82-3110 運営：鶴居村音楽祭実行委員会
後援：標津町、標津町教育委員会 協力：鶴居村
標津町生涯学習センター：TEL.0153-82-2900

①やむを得ない事情により、出演者・曲目・曲順等が変更になる場合がございます。②公演中止を除き、お買い求めいただきましたチケットのキャンセル・変更等はできません。③いかなる場合も、チケットの再発行はできません。④演奏中は、入場することはありません。⑤未就学児の同伴は、第一部のみとなります。また、就学時以上のお子様も、ご入場には1人1枚のチケットが必要となります。⑥場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等の使用は、固くお断りいたします。⑦ネットオークション等による転売は、トラブルの原因となりますのでお断りいたします。⑧他のお客様のご迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合がございます。

主催：標津町文化協会

■地域に愛される音楽祭の開催を

鶴居村音楽祭実行委員会では、地域に愛され、鶴居村らしい音楽祭を開催したいとの思いから、村内在住の指揮者「石川 征太郎」氏を音楽監督におき、思いに賛同したヴァイオリニスト「成田 達輝」氏、チェリスト「上村 文乃」氏、ピアニスト「中野 翔太」氏ら、国内外で活躍する音楽家4名の協力を得て、2023年からタンチョウの里鶴居村音楽祭を開催しました。今年にはさらに、「日本で最も美しい村連合」の繋がりもある、標津町にて、音楽家4名を迎え、標津町スペシャルコンサートを開催します。ここにしかない、一夜限りのスペシャルな音楽祭をお届けいたします。



音楽監督 指揮 石川 征太郎

1985年生まれ、東京都出身、鶴居村在住、鶴居中学校吹奏楽部の指導員を務める。東京藝術大学音楽学部指揮科、ロベルト・シューマン音楽大学デュッセルドルフ指揮科卒業および同大学院修了。藝大卒業時にアカンサス音楽賞受賞。2011、2012年度ロームミュージックファンデーション奨学生。2015年国際リヒャルト・ワーグナー協会奨学生。2016年第1回フェリックス・メンデルスゾーン国際指揮者コンクール第2位受賞。レパートリーはバロックから現代音楽まで幅広く、国内外で新作初演も積極的に行なっている。2016年サントリー芸術財団サマーフェスティバル国際作曲家委嘱シリーズ＜カイヤ・サーリアホ＞に出演。2018年にはハンブルク州立歌劇場にてベーター・ルジツカのオペラ「ベンヤミン」の副指揮を務め、世界初演の成功に貢献するなど国内外で幅広く活躍している。



ヴァイオリン 成田 達輝

ロン＝ティボー国際コンクール(2010)で第2位およびSASEM著作権協会賞受賞、エリザベート王妃国際音楽コンクール(2012)にて第2位およびイザイ賞受賞。その超絶技巧と詩情豊かな音楽性に「バグニニーの再来」とフランス紙で評された。著名指揮者および国内外のオーケストラと多数共演し高い評価を得るとともに、リサイタルやジャンルにこだわらない様々なアーティストとの室内楽においても圧倒的なテクニックと多彩な表現力を披露している。現代作曲家とのコラボレーションも積極的に行っており、2013年サントリー芸術財団サマーフェスティバルで演奏した酒井健治作曲ヴァイオリン協奏曲《G線上で》は芥川作曲賞を受賞、S.カンブルラン指揮／読売日本交響楽団と演奏した一柳慧作曲《ヴァイオリンと三味線のための協奏曲》(世界初演)の公演は2022年度芸術祭大賞を受賞した。2022年9月には坂本龍一のプライベート録音に参加し「ソナタ」等を演奏。海外での演奏活動も積極的に行っており、近年では、韓国平昌やミンスク、ギリシャ・イドラ島の音楽祭に参加したほか、2024年4月にはピアニスト福岡洸太郎と中央アジア4ヶ所を回るツアーを行った。使用楽器は、A.ストラディヴァリ黄金期の「Tartini」1711年製(宗次コレクションより貸与)。



チェロ 上村 文乃

桐朋学園大学ソリストディプロマコース卒業後、ハンブルク音楽演劇大学、バーゼル音楽院、スコラカントゥムバーゼル(古楽科)に留学。第5回東京音楽コンクール第2位。第4回ルーマニア国際音楽コンクール第1位、第80回日本音楽コンクール第2位、イタリア・トレヴィーゾ国際音楽コンクール優勝など入賞歴多数。2022年第23回ホテルオークラ音楽賞受賞、第2回インディアナポリス国際バロックコンクール優勝。これまでに東京フィル(小林研一郎)、読売日響(下野竜也)、京都市交響楽団(鈴木優人)、ワロニー王立室内管弦楽団(フランク・プラレイ)、バーゼル交響楽団(クリストフ・ゲンショルド)等と共演。また、霧島国際音楽祭、宮崎国際音楽祭、東京・春・音楽祭、アスペン音楽祭、チェロピエンナーレ・アムステルダム、モネゲッティ&フレンズ等の音楽祭に出演。トリバルティ・トリオやパッサ・コレギウム・ジャパンのメンバーとしても活躍中。モダンチェロの演奏にとどまらず、ビリオド楽器を用いた歴史的演奏法にも取り組み、活躍の場を広げる稀有なチェリストである。2024年2月第22回齋藤秀雄メモリアル基金賞を受賞。



ピアノ 中野 翔太

1999年よりジュリアード音楽院ブレ・カレッジに留学し、同音楽院を経て2009年に大学院を卒業。第15回出光音楽賞を受賞。これまでに、シャルル・デュトワ指揮/NHK交響楽団、小林研一郎指揮/読売日本交響楽団、小澤征爾指揮/ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、ウラディーミル・アシュケナージ指揮/NHK交響楽団など、国内外の著名な指揮者やオーケストラと共演を重ねている。近年では、カーチン・ウォン指揮/日本フィルハーモニー交響楽団と坂本龍一「地中海のテーマ」を共演し高く評価されたほか、ジョナサン・ノット指揮/東京交響楽団とシェンフィールド「4つのバラブル」、神奈川県民ホールで開催された「浜辺のアイニシュタイン」などに出演。リサイタルや室内楽にも積極的に取り組み、演奏活動の幅を広げている。また、故坂本龍一氏が深く関わった東北ユースオーケストラとの共演はテレビでも放映された。圧倒的な技術に裏打ちされた豊かな表現力と透明感のある音色が高く評価されており、クラシックを基盤としながらも、作曲・編曲・ジャズ演奏など、多彩な音楽活動を展開。2021年・2023年には浜松国際ピアノアカデミーの講師を務め、後進の指導にも力を注いでいる。東京音楽大学非常勤講師。

会 場

標津町

生涯学習センターあすばる

標津町南1条西5丁目5-3

音楽祭の詳細はこちら

